

弘前大学で

生涯学習を

—公開講座・講演会等の案内—

(平成17年度)

公開講座・講演会に参加してみませんか
キャリアアップのための講座もあります
大学の「知」を活用・利用してみませんか
弘前大学の施設利用案内もあります



弘前大学では、大学の研究成果を広く地域に公開し、地域課題に即した研究や人材の育成を行うなど、地域に根ざし地域に開かれた大学づくりを目指しています。

生涯学習社会といわれる今日、大学は若者だけの教育学習の場としてではなく、職業人・主婦・高齢者などの社会人や小・中学生および高等学校の在校生にも教育学習に利用できる場になってきています。

このパンフレットでは、生涯学習教育研究センターが主催する公開講座・講演会などの事業をはじめ、人文学部・教育学部・医学部・理工学部・農学生命科学部などが開催している公開講座も紹介しています。また社会人入学などの教育学習システム、附属図書館や体育館等の施設の利用方法など、生涯学習に役立つ大学の情報も提供しています。是非ご活用ください。

公開講座・講演会の参加方法

興味のある公開講座や講演会がありましたら「主催等・問合せ」にまずご連絡ください。事業によって申し込み方法が異なっていたり、事前の申し込みが必要な場合がありますので、注意が必要です。不明なことがありましたら遠慮無くお問い合わせください。

受講料

今年度から受講料が安くなりました。これまで以上に手軽に受講できるようになっています。是非この機会に弘前大学の公開講座に参加してみませんか。

講座によっては受講料が無料のものもあります。

1. はじめに	2
公開講座・講演会の参加方法 受講料	
2. 公開講座・講演会等を開催しています	
弘 前	3
五所川原・つがる・鱒ヶ沢・鶴田	8
青 森	10
八 戸	11
十和田・三沢・むつ	13
生涯学習教育研究センター On-Line 公開講座	14
3. 気軽に学習相談を	15
4. 共同研究・受託研究や研修を行います	15
5. 弘前大学のホームページで情報発信しています	16
6. 生涯学習のための開かれた大学 大学の講義を聞くことができます	16
7. 市民も施設を利用できます	17
8. その他	19

2

公開講座・講演会等を開催しています

弘前大学では公開講座や講演会など、様々な事業を行っています。教養を高めたり、今日の教育・社会・経済・医療・福祉問題等を考えたり、音楽を楽しんだりする機会を提供しています。弘前大学の持つ「知」を皆さまの生活に生かしてください。

弘 前

生涯学習教育研究センター

名称・開催日	講 師	内 容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ先
観光ビジネススクール 「はやて」 ホスピタリティ能力養成講座		新幹線が八戸まで開通したことによる経済効果は、観光をはじめ地域産業と様々に結びついています。今後の地域活性化、企業・個人としてのビジネスチャンス、行政としての課題なども視野に入れながら、ホスピタリティ能力の向上・キャリアアップを目指します。	総合教育棟 2階 人文学部多目的室	生涯学習教育研究センター・青森県文化観光部
6月23日(木) 青森の観光について	人文学部 助教授 森 樹男		観光業関係者 一般 学生 30名	生涯学習教育研究センター ☎0172 - 39 - 3148
6月30日(木) 接客マナーの基本	青森県観光推進課 秋田 佳紀	魅力あふれるイベントも企画しています (いずれも希望者のみ)	学生 5,000円 一般 10,000円 法人 15,000円	
7月7日(木) ホスピタリティ産業における接客	弘前観光コンベンション協会専務理事 飯塚 和剛	弘前市内見学ツアーを実施します。観光ガイドの方に説明していただきながら、市内の観光スポットを巡ります。「洋館とフランス料理の街ひろさき」にちなみ、昼食はフランス料理のランチを予定しています(7月9日(土)実施予定。参加費として昼食などの実費を別途いただきます)。		
7月14日(木) 電話対応マナー	JAL 客室乗務員			
7月21日(木) 牛角躍進の裏側 ～マニュアル以上の接客術～	NTT人材育成専属講師 秋元 宏子	7月19日(火)にホテルでの実習を予定しています。		
7月28日(木) ワークショップ	レインズインターナショナル 牛角研修担当	白神山地のガイド付き「一日自然観察ツアー」を行います(現地集合現地解散。10月実施予定)。		
8月25日(木) 未 定	県内観光関連企業代表者	公開講演会を実施します 9月15日(木)の講義については、受講者以外の方も受講できるように、公開講演会とします。会場は、医学部コミュニケーションセンター(弘前市本町40-1)を予定しています。		
9月1日(木) 消費者ニーズに対応した産地戦略	伊勢丹MD統括部 支店催事部物産展担当 高橋 貞男			
9月8日(木) 宿泊施設におけるホスピタリティ	アソベの森いわき荘 常務理事・総支配人 齋藤 浩			
9月15日(木) 人材育成	パソナ社長 南部 靖彦			
9月22日(木) 飛騨高山の観光とまちづくり	観光カリスマ 飛騨高山観光協会会長・ 高山商工会議所会頭 蓑谷 穆			
10月27日(木) 成果発表会				
18:30~20:30				
都合により一部変更することがあります。				

名称・開催日	講師	内 容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ先
レクチャー・コンサート・シリーズ 7月19日(火) クラリネットの魅力 10月18日(火) 自作の作品による演奏 12月20日(火) ピアノの魅力 18:00~20:00	ルイヴィル大学 助教授 ダラス・ティットウェル 声楽家 エディス・デイヴィス・ ティットウェル 教育学部 教授 浅野 清 欧州サウンドスケープ 学会長 ガブリエル・プロイ 教育学部 教授 浅野 清	クラリネット、ピアノ、声楽の種類の組み合わせによる作品を説明やトークを交えながら演奏し、クラリネットの魅力、二重奏の楽しみなどを伝える。 ニュールンベルク電気工学校講師でもあるサウンド・アーティストによるレクチャー及びコンサート。通訳付き 東西の作曲家によるピアノ作品を集め、ピアノ音楽のもつ魅力を語りながら演奏する。	弘前市立百石町展示館 一般 60名 無料	弘前市教育委員会・生涯学習教育研究センター 弘前市立百石町展示館 ☎0172 - 31 - 7600 生涯学習教育研究センター ☎0172 - 39 - 3148
美術体験講座 「美術になっちゃおう」 8月27日(土) 10:00~12:00	教育学部 助教授 芳野 明	「図画工作」や「美術」というと、学校で勉強する何か立派なことのような感じがしませんか。実は美術やそれに似たものは私たちの生活の中にあふれています。街角の彫刻、カレンダーに印刷されている巨匠の絵画等々、私たちは実は美術にとりまかれています。この講座では、絵や彫刻の中の人間や動物たちがどんなことを感じ、考えているのかを、身体を思いっきり動かしながらみんなで探ってみようと思います。いっけん難しく堅苦しそうな「美術」がより身近なものに感じられるでしょう。	教育学部音楽ホール 小学生 15名 無料	生涯学習教育研究センター 生涯学習教育研究センター ☎0172 - 39 - 3148
生涯学習連続講演会 「明日の教育を考える」 10月25日(火) 自然の豊かさ・すばらしさに学ぶ ~十二湖の生態を中心に~ 11月1日(火) 現代の若者像 ~働くことをどのように考えているのだろうか~ 11月8日(火) 戦後教育改革の意義を再確認しよう 18:30~20:30	教育学部 教授 大高 明史 学生就職支援センター 助教授 小磯 重隆 21世紀教育センター・ 高等教育研究開発室 教授 土持・ゲーリー ・法一	教育をめぐる問題は、「学力問題」や「いじめ」等のほか、青少年の中では「NEET」の問題も重視されてきています。教師・保護者・地域住民が一緒になって、今日の教育問題を自然認識・職業・戦後教育改革など様々な角度から考えてみましょう。 (^^)保育室を設けます(^^) 小さなお子様がいらっしゃる方も気軽に参加していただけるよう、10月25日~11月8日の講演会に保育室(無料)を開設します。希望する場合は、開催日の2日前までにご連絡下さい。	医学部コミュニケーションセンター 教育関係者 一般 40名 無料	生涯学習教育研究センター 生涯学習教育研究センター ☎0172 - 39 - 3148
懇談会 「就職への道」(仮称) 10月29日(土) 「就職と大学生活」 13:30~15:30	話題提供 青森県若年者就職支援センター(ジョブカフェあもり)主幹 コーディネーター 二階堂孝志 司会 生涯学習教育研究センター 助教授 藤田 昇治	総合文化祭の一環として、学生・高校生を主たる対象とした懇談会を開催し、就職するために大学でどのように学び自己の能力を開発するか、社会人としての人生設計をどのように考えるか、どのような規準で大学・学部を選択するか、といった内容で話し合いを行います。	弘前大学 大学生 高校生 30名 無料	生涯学習教育研究センター 青森県若年者就職支援センター(ジョブカフェあもり)共催 生涯学習教育研究センター ☎0172 - 39 - 3148

名称・開催日	講師	内 容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ
生涯学習セミナー 「弘前の豊かな魅力を掘りおこす」 12月1日(木) 津軽藩の誕生と弘前城の謎を解く 12月2日(金) 明治・大正期の弘前の歴史と文化 18:30~20:30	教育学部 教授 齊藤 利男 ジャーナリスト 丸谷 馨	弘前市民の「観光ホスピタリティ」の向上を図るため、弘前・津軽地域の歴史・文化について、理解を深める機会とします。私たちが住んでいる地域の「豊かな魅力」を再発見してみましょう。	医学部コミュニケーションセンター 商工関係者 一般 40名 無料	生涯学習教育研究センター 弘前観光コンベンション協会共催 弘前市後援 生涯学習教育研究センター ☎0172 - 39 - 3148
ネット講演会 2月22日(水) 樋口一葉『たけくらべ』を読む ～近代文学研究の立場から・国語教育の立場から～ 18:30~20:30	教育学部 助教授 山本 欣司	樋口一葉は近代初の女流文学者として注目されています。その作品「たけくらべ」について理解を深めるとともに、国語教育の教材として今後どのように深められるべきか、考えてみましょう。 八戸での講演をリアルタイムで受講します。	医学部コミュニケーションセンター(テレビ会議システム) 教育関係者 一般 30名 無料	生涯学習教育研究センター 生涯学習教育研究センター ☎0172 - 39 - 3148

人文学部

環日本海学会 第11回学術研究大会 10月1日(土) シンポジウム 「越境広域経営と地域主義」 10月2日(日) 分科会(個別報告) 時 間:未 定	『NorVision』策定ワーキンググループ委員長、デンマーク環境省(現EU EPSONコーディネーターとしてEU在駐) フレミング・ソナーヌ 総合研究開発機構(NIRA)理事 澤井 安勇	・大会テーマ 越境広域のグランドデザイン構築：環日本海(東海)地域の平和と相互交流促進の展望 ・シンポジウム 北東アジアでの地域協カグランドデザインの日本での初めての画期的な比較シンポジウム	シンポジウム 創立50周年記念会館 分科会 総合教育棟 環日本海学会会員 一般 定員設定なし 無料 (ただし、資料代については現在検討中)	環日本海学会 人文学部国際協力研究室 柑本 英雄 ☎0172 - 39 - 3245
人文学部文化財論講座 レクチャーシリーズ「おさげ」 10月29日(土) 13:00~15:00	人文学部 助教授 関根 達人 人文学部 助教授 足立 薫 人文学部文化財論講座 教員全員	レクチャーとフリートーク	人文学部棟 一般 自由参加 無料	人文学部文化財論講座 人文学部文化財論講座 須藤 弘敏 ☎0172 - 39 - 3220

大学院教育学研究科

自然の事象に立脚した観察実験 知的好奇心を刺激し、探求心を深め、理科好きを持続させるための工夫 7月30日(土) 身の回りの道具 てこ・天秤など誤解を生みやすい実験 身の回りの“もの”を科学する 自然が創る“もの”についての観察実験 7月31日(日) 身の回りの放射線 身の回りの環境 9:30~12:30 13:30~16:30	教育学部 教授 東 徹 教育学部 教授 堀内 弘之 教育学部 教授 山本 逸郎 教育学部 助教授 長南 幸安	自然と密着した身の回りの事象を分かりやすくとらえ、興味関心を深める講座です。 この講座は文部科学省SPP事業の「教員研修」として開講され、青森県教育委員会との連携講座として実施	教育学部・物理学 実験室、他 現職教員及び教育関係者 20名 無料	青森県教育委員会・大学院教育学研究科 教育学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172 - 39 - 3325
--	---	---	---	---

名称・開催日	講師	内 容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ
小学校英語教育基礎： Stories (物語) in English 8月1日(月) 9:30~12:00 13:00~15:30	教育学部 外国人教師 アンソニー・ ラウシュ	小学校での英語活動における英語の物語の 利用をテーマとするものです。以下の3つの 物語の利用方法を紹介します。(1)カリキュ ラム全体を物語で構成する方法;(2)物語を 基本にした個別のアクティビティの活用; (3)英語のインプットを増やすための物語の 利用。物語の利用は英語に自信のない方が英 語活動を始めるための一つの方法である。各 受講者の担当学年にふさわしい物語(講師準 備)の朗読練習をすることが求められます。	教育学部107教室 現職教員及び教育 関係者 15名 無料	大学院教育学研究科 教育学部総務グル ープ(研究協力担当) ☎0172-39-3325
ワークショップ 「実践をつうじて学ぶ特別支援 教育」 8月2日(火) 8月3日(水) 8月4日(木) 8月5日(金) 9:00~12:00 13:00~17:00	教育学部 教授 松本 敏治 教育学部 教授 安藤 房治 ほか	LD・ADHD・高機能自閉症等の特別支援教育 対象児童・生徒の理解と対応を、1)講義 2) 実際の指導を通じて学ぶ。1日目:軽度発達 障害の心理・指導方法、特別支援教育の制度 等についての講義。2~4日目:午前、軽度 発達障害児への指導。午後カンファレンス。 今年度は広汎性発達障害の児童生徒を対象と した指導を予定している。	教育学部附属養護 学校 現職教員及び教育 関係者 24名 無料 但し、教材費 3,000円程度	大学院教育学研究科 教育学部総務グル ープ(研究協力担当) ☎0172-39-3325

医学部

アレルギー 8月26日(金) 9月2日(金) 9月9日(金) 9月16日(金) 18:30~20:30	毎週、下記講座 の講師2名に担 当いただく予定 です。 医学科 内科学第一講座 内科学第二講座 老年科学講座 小児科学講座 皮膚科学講座 眼科学講座 耳鼻咽喉科講座 細菌学講座	現在国民の3割が何らかのアレルギー性疾 患を有していると言われています。そこで今 回医学科では、下記のアレルギー性疾患につ き、それぞれの専門の先生方から最新の情報 をお話いただきます。 1. アレルギー性鼻炎・花粉症 2. アレルギー発現作用機序 3. 食物アレルギー 4. アトピー性皮膚炎 5. アレルギー性疾患 総編 6. アレルギー性結膜炎 7. 喘息 8. 薬疹(くすりまけ)	医学部コミュニケー ションセンター 一般 100名 無料	医学部医学科広報 委員会 医学部医学科総務 グループ(研究支 援・会計担当) ☎0172-39-5208
公開講座 「廃用症候群を防ぐための理論 と実践」 9月16日(金) 9:00~15:10	保健学科 理学療法専攻 岩田 学 秋元 博之 金沢 善智 對馬 均 若山 佐一 石川 玲 尾田 敦 對馬 栄輝 土橋真由美 吉田 英樹	今回保健学科理学療法専攻では、老人医 療・介護の現場において、古くて新しい問題 である廃用症候群をテーマに、予防の観点か ら講義と実習を企画してみました。 1: 廃用症候群の予防に必要な基礎知識 (講義) 2: 廃用症候群における骨関節病変(講義) 3: 廃用症候群を防ぐための機器と住環境 (講義) 4: 廃用症候群予防の実際(講義) 5: 廃用症候群予防の実践対策(実習)	医学部保健学科 老人施設職員及び 保健師等老人福祉 に携わる方 30名 2,500円	医学部保健学科理 学療法専攻 医学部医学科総務 グループ(研究支 援・会計担当) ☎0172-39-5208

理工学部

名称・開催日	講師	内 容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合先
夏休みの数学2005 8月3日(水) 8月4日(木) 8月5日(金) 10:00~16:00	理工学部 教授 香 本瀬 理工学部 教授 博 中里 理工学部 教授 真 神	数学の啓蒙を目的として、数学のおもしろさと多様性を理解してもらう講座です。	理工学部 中・高校教員 高校生 一般 60名 無料	理工学部 理工学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172-39-3520
楽しい科学 総合文化祭開催期間中 10:00~16:00	理工学部教員	大学の教育機能や施設を広く一般に開放、インターネットや簡単な化学実験を体験してもらいます。	理工学部 小学生・中学生と その父母 750名 無料	理工学部 理工学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172-39-3520
サイエンスへの招待 総合文化祭開催期間中 10:00~16:00	理工学部教員	大学の研究室や各種実験装置を公開し、教員や大学院生らが日頃の研究成果や最新の科学技術を公開実験を中心に紹介・解説することにより「見える科学・技術」を紹介・解説するものです。	理工学部 小学生, 中学生, 高校生, 一般 750名 無料	理工学部 理工学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172-39-3520

理工学部ほか

夢・化学 - 21 「化学への招待」 弘前大学一日体験化学教室 8月4日(木) 10:00~16:30	理工学部, 教育学部 理工学部, 教育学部の化学系教員	講演と化学実験を通じて「化学」のおもしろさを身近に感じながら21世紀の「夢」を語り合う講座です。 午前: 講演 午後: 6~8名程度にグループ分けして, 専門的実験を体験	理工学部, 教育学部 中学生 高校生 一般 60名 無料	日本化学会東北支部 化学工学会(夢・化学-21委員会) 理工学部物質理工学科設計分子工学講座 澤田 英夫 ☎0172-39-3578
---	--------------------------------	---	--	--

農学生命科学部

農学生命科学・公開講座 「農業未利用資源の有効活用について」 青森県のバイオマス(仮) 10月29日(土) 13:30~	農学生命科学部 助教授 眞実 泉谷 農学生命科学部 教授 一夫 宮入	「未利用資源活用をめぐる社会経済問題」(仮) 「未利用資源の食品機能性活用について」(仮)	農学生命科学部 203講義室 中学生以上 一般市民 60名程度 無料	農学生命科学部 農学生命科学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172-39-3756
--	---	--	---	---

遺伝子実験施設

遺伝子実験施設セミナー 不定期に開催 時間: 未定	未定	全国から来校した研究者や県内各地の研究者の研究成果に基づいた講演を行い, 研究交流を行う。	遺伝子実験施設 一般 大学教職員, 学生 定員無し 無料	遺伝子実験施設 遺伝子実験施設 ☎0172-39-3891
遺伝子実験施設シンポジウム 10月~11月に開催 時間: 未定	未定	例年異なるテーマにより, 全国から遺伝子研究の先端的な研究者を3名程度招聘してシンポジウムを行う。	農学生命科学部 大講義室 一般 大学教職員, 学生 定員無し 無料	遺伝子実験施設 遺伝子実験施設 ☎0172-39-3891

五所川原・つがる・鯨ヶ沢・鶴田

生涯学習教育研究センター

五所川原・つがる・鯨ヶ沢・鶴田

名称・開催日	講師	内容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ先
生涯学習連続講演会 「鯨ヶ沢地域の課題と将来展望」 10月6日(木) 鯨ヶ沢地域の振興課題と今後の可能性 10月13日(木) 地域活性化と情報・交通ネットワーク 10月20日(木) 地域の自然エネルギー開発を推進しよう 10月27日(木) 地域住民の参加・参画によるまちづくり 11月3日(木) 寿命を延ばすために 18:30~20:30	農学生命科学部 教授 神田 健策 人文学部 教授 香取 薫 理工学部 教授 稲村 隆夫 教育学部 教授 北原 啓司 医学部 教授 中路 重之	弘前大学では、平成16年度から鯨ヶ沢地域の総合的な調査研究活動を行っています。地域の自然・産業・経済・医療などの領域にまたがる、総合的調査です。調査は、行政・企業・団体の多くの方々に協力していただいておりますが、そのお礼の意味を含め、この調査で明らかになったことをふくめて講演会を開催します。	鯨ヶ沢町中央公民館(予定) 行政関係者 農業関係者 商工関係者 一般 40名 無料	生涯学習教育研究センター 鯨ヶ沢町共催 鯨ヶ沢町役場 ☎0173-72-2111 生涯学習教育研究センター ☎0172-39-3148
あおもり県民カレッジ 大学公開講座まつり 10月15日(土) 生きがいのある生活とは ~生涯発達の視点から~ 13:30~15:00	生涯学習教育研究センター 助教授 藤田 昇治	「あおもり県民カレッジ」主催の「大学公開講座まつり」の一環として、講演会を開催します。「生きがい」をもって、健康で文化的な生活をおくるためにはどんなことが必要とされているのか、考えてみましょう。 10月13日(木)、14日(金)も、「大学公開講座まつり」の一環として講演会が予定されています。	エルム文化センター 一般 50名 無料	あおもり県民カレッジ 生涯学習教育研究センター共催 あおもり県民カレッジ事務局 ☎017-762-1131

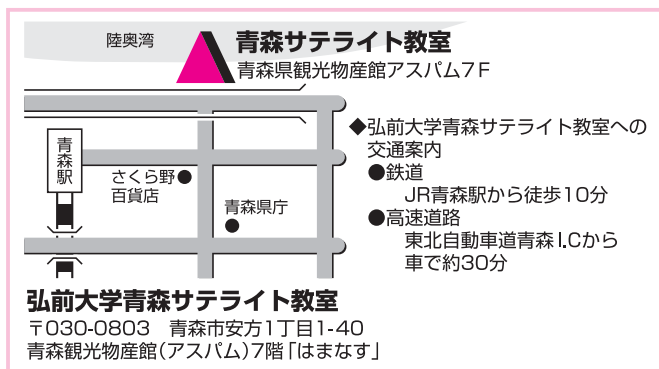
教育学部

公開講座 「自分づくり」のための道標 8月27日(土) 9月3日(土) 13:00~16:30	教育学部 助教授 小岩 直人 教育学部 教授 本間 正行 教育学部 教授 伊藤 成治 他1名	「自分づくり」は人生のゴールインするまで、生涯の課題でもあります。その「自分づくり」にわれわれ教育学部のスタッフが少しでもお手伝いできればということで、それぞれ専門とする立場から「自分づくり」のための道標を立てて行きます。講座内容は、人文科学、自然科学、健康科学、芸術等の視点から生活の知恵や教養を深める糸口をごく身近な題材からわかりやすく展開します。	鶴田町公民館 一般 40名 3,500円	教育学部・鶴田町教育委員会共催 鶴田町教育委員会 ☎0173-22-2111 (内線212)
11月5日(土) 11月12日(土) 11月19日(土) 11月26日(土) 13:00~16:30	教育学部 助教授 高橋 俊哉 教育学部 教授 鎌田耕太郎 教育学部 助教授 杉原かおり 教育学部 助教授 戸塚 学 教育学部 助教授 秋葉まり子 他3名		つがる市生涯学習交流センター 一般 20名 7,000円	教育学部・つがる市教育委員会共催 つがる市教育委員会 ☎0173-49-1194

農学生命科学部附属生物共生教育研究センター

名称・開催日	講師	内 容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ
<p>白神山地観察会</p> <p>5月14日(土) 7月23日(土) 10月8日(土) 3月4日(土)</p> <p>時 間：未 定</p>	2～3名	年度内4回、四季折々の白神山地の自然を歴史的観点をも交えて観察する。	<p>白神山地</p> <p>一般 各20名</p> <p>テキスト代・傷害 保険代金として 500円程度</p>	<p>生物共生教育研究 センター・白神研 究会共催</p> <p>生物共生教育研究 センター藤崎農場 ☎0172-75-3026</p>
<p>親子体験学習 触れよう自然と農業と思い やり</p> <p>5月28日(土) 6月18日(土) 8月6日(土) ～8月7日(日)(1泊) 9月24日(土) 10月22日(土)</p> <p>時 間：未 定</p>	12名程度	小学生親子に農業体験と自然学習をさせ、人間と地球環境のあり方を考える契機を与えることを目的として行う。	<p>生物共生教育研究 センター金木農場</p> <p>小学生親子 50名 (親1名に対して 子ども2人まで) 大人 3,500円 子供 3,000円 (教材・宿泊料含む)</p>	<p>生物共生教育研究 センター金木農場 ☎0173-53-2029</p>
<p>白神山地インストラクター養成 講座</p> <p>6月,2月</p> <p>時 間：未 定</p>	5名程度	白神山地の自然生態系の知識と、自然と共生的な伝統文化を多くの人々に伝えるインストラクターの養成をめざす。	<p>未定</p> <p>一般成人 50名 6月 無料 2月 2,000円</p>	<p>生物共生教育研究 センター藤崎農場</p> <p>生物共生教育研究 センター藤崎農場 ☎0172-75-3026</p>
<p>リンゴを科学する</p> <p>12月上旬</p> <p>時 間：未 定</p>	藤崎農場教員 農学生命科学部 教員 リンゴ試験場研 究員	<p>リンゴの栽培方式、樹・果実の生理、病害 虫防除、土壌肥料、品種、流通、海外事情そ の他、リンゴ農家に直接あるいは間接に役立 つ話をする。</p> <p>1日3講座ずつ3日間で9講座を開く。</p>	<p>未定</p> <p>リンゴ農家及び関 係者 100名 無料 ただし、テキスト 代1,000円</p>	<p>生物共生教育研究 センター・市町村 (未定) 共催</p> <p>連絡先未定</p>
<p>リンゴ剪定技術研修会</p> <p>1月下旬</p> <p>時 間：未 定</p>	10名程度	整枝剪定の技術及び理論を学ぶ。	<p>生物共生教育研究 センター藤崎農場</p> <p>リンゴ農家 制限なし 無料</p>	<p>生物共生教育研究 センター・藤崎町 共催</p> <p>生物共生教育研究 センター藤崎農場 ☎0172-75-3026</p>

青 森



弘前大学青森サテライト教室

弘前大学青森サテライト教室では、各研究科の大学院の授業も行っています。平成17年度の授業(後期)の申し込みは9月末になっています。詳細についてのお問い合わせは学務部教務課教務企画担当(電話 0172 - 39 - 3108)まで。

生涯学習教育研究センター

名称・開催日	講師	内 容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合先
公開講座 「災害についての危機意識をお持ちですか」 8月25日(木) スマトラ沖地震に学ぶこと 9月1日(木) 阪神淡路大地震から10年 ～地震とボランティア活動～ 9月8日(木) 起こりやすい山地災害とその対応 途上国と日本を比較して 9月15日(木) 青森県におけるこれまでの災害 そこから学ぶもの 9月22日(木) 災害における私たちの対応と心構え 18:00～20:00	医学部 助教授 朝日 茂樹 人文学部 助教授 山下 祐介 農学生命科学部 教授 檜垣 大助 理工学部 助教授 小菅 正裕 理工学部 助教授 津村 浩三	近年、国内外で地震や火山などによる大きな災害が生じています。スマトラ沖地震や阪神淡路大地震の経験などにも学びながら、私たちが住んでいる青森県で起きる可能性のある災害について考えてみましょう。	青森市中央市民センター 一般 40名 5,000円	弘前大学・青森市教育委員会 青森市教育委員会 社会教育課 ☎0172 - 734 - 5636

大学院教育学研究科

小学校英語教育基礎： Stories(物語) in English 8月2日(火) 9:30～12:00 13:00～15:30	教育学部 外国人教師 アンソニー・ラウシュ	小学校での英語活動における英語の物語の利用をテーマとするものです。以下の3つの物語の利用方法を紹介します。(1)カリキュラム全体を物語で構成する方法;(2)物語を基本にした個別のアクティビティの活用;(3)英語のインプットを増やすための物語の利用。物語の利用は英語に自信のない方が英語活動を始めるための一つの方法である。各受講者の担当学年にふさわしい物語(講師準備)の朗読練習をすることが求められます。	弘前大学青森サテライト教室 現職教員及び教育関係者 15名 無料	大学院教育学研究科 教育学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172 - 39 - 3325
教師のための地球環境史入門 8月3日(水) 10:00～12:00 13:30～15:30	教育学部 教授 鎌田耕太郎	生活の土台である大地は、地球誕生以来の環境変遷や生物進化の様子が記録された「古文書」です。環境保全や限りある資源の有効活用、頻発する局地的自然災害などの課題に対して地球環境史から学ぶことはたくさんあります。講座では青森平野や夏泊半島、十和田湖・八甲田火山等を題材に、地球固有の地球史を記録した「古文書」解読の方法を学習し、地域教材のまとめかたや活用の方法について助言します。	弘前大学青森サテライト教室 現職教員及び教育関係者 10名 無料	大学院教育学研究科 教育学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172 - 39 - 3325
教師のための環境リテラシー 8月8日(月) 10:00～12:00 13:00～17:00	教育学部 助教授 長南 幸安	総合的な学習の時間などで環境問題を子ども達に教える機会が増えました。しかしそれを指導する教師のほとんどは新聞やテレビ等からのみの情報であり、それが真実であると信じていますが、それは本当に正しいことなのでしょうか。当講座では、ダイオキシン・環境ホルモン・地球温暖化問題などについて現在の環境を正確に理解し、児童・生徒に環境問題というものを正しく伝えられる能力を身に付けた教師の育成を目指します。	弘前大学青森サテライト教室 現職教員及び教育関係者 20名 無料	大学院教育学研究科 教育学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172 - 39 - 3325

八 戸

◆弘前大学八戸サテライトへの交通案内

- 鉄道 JR東北本線八戸駅
新幹線八戸駅から徒歩1分
- 高速道路 東北自動車道八戸ICから車で約7分

◆お問い合わせ先
弘前大学八戸サテライト
 〒039-1102 八戸市一番町1丁目9-22
 (ユートリー)4階
 TEL・FAX/0178-70-2590

弘前大学八戸サテライト

「弘前大学八戸サテライト」を会場として(ユートリー内部の別の会場を含みます),様々な事業を行っています。

ネット講演会

弘前大学を主会場としながら,弘前大学とインターネットを利用し直通的通信システムで結んだ講演会も開催されます。リアルタイム・双方向ですから,弘前会場にいる講師に対して八戸会場から質問をしたり,感想・意見などを発表することができます。

生涯学習教育研究センター

名称・開催日	講師	内 容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ先
弘前大学公開講座 9月13日(火) 消費者の豆知識 ~不当表示などへの対応を考える~ 10月18日(火) 防災教室 ~災害から身を守る~ 11月15日(火) リサイクルを考える 14:00~16:00	人文学部 教授 保田 宗良 理工学部 助教授 津村 浩三 理工学部 教授 鶴見 實	現在の生活の中で,私たちは深刻化する環境問題や予想される災害・消費者問題などへの対応が求められています。それらの問題を考えながら,生活に役立つ様々な知識・情報を分かりやすく紹介します。	八戸市福祉公民館 一般 50名 3,000円	弘前大学・八戸市教育委員会 八戸市立中央公民館 ☎0178-43-0635 生涯学習教育研究センター ☎0172-39-3148
ネット講演会 「明日の教育を考える」 10月25日(火) 自然の豊かさ・すばらしさに学ぶ ~十二湖の生態を中心に~ 11月1日(火) 現代の若者像 ~働くことをどのように考えているのだろうか~ 11月8日(火) 戦後教育改革の意義を再確認しよう 18:30~20:30	教育学部 教授 大高 明史 学生就職支援センター 助教授 小磯 重隆 21世紀教育センター・高等教育研究開発室 教授 土持・ゲーリー・法一	教育をめぐる問題は,「学力問題」や「いじめ」等のほか,青少年の中では「NEET」の問題も重視されてきています。教師・保護者・地域住民が一緒になって,今日の教育問題を自然認識・職業・戦後教育改革など様々な角度から考えてみましょう。 弘前での講演をリアルタイムで受講します。	弘前大学八戸サテライト (テレビ会議システム) 教育関係者 一般 30名 無料	生涯学習教育研究センター 弘前大学八戸サテライト ☎0178-70-2590 生涯学習教育研究センター ☎0172-39-3148
生涯学習セミナー 「医療と倫理」 11月19日(土) 13:00~16:00	医学部 教授 泉井 亮 医学部 教授 水沼 英樹 八戸市立市民病院院長 三浦 一章	1. 記録映画「臨死」の上映 2. フリーディスカッション 「医療のあり方を考える」 人間性豊かで,思いやりがあり,信頼できる医療は私達すべての願いです。記録映画「臨死」は病院で死に直面している患者さんとその家族,治療にあたる医療スタッフの対応を忠実に記録しています。この映画を観て,私達の望む医療の実現のために私達がなすべきこと,医療側が心がけるべきことについて考えましょう。	三八教育会館 一般 100名 無料	生涯学習教育研究センター 生涯学習教育研究センター ☎0172-39-3148

名称・開催日	講師	内容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ先
生涯学習講演会 2月22日(水) 樋口一葉『たけくらべ』を読む ～近代文学研究の立場から・ 国語教育の立場から～ 18:30～20:30	教育学部 助教授 山本 欣司	樋口一葉は近代初の女流文学者として注目されています。その作品「たけくらべ」について理解を深めるとともに、国語教育の教材として今後どのように深められるべきか、考えてみましょう。	弘前大学八戸サテライト 教育関係者 一般 30名 無料	生涯学習教育研究センター 弘前大学八戸サテライト ☎0178 - 70 - 2590 生涯学習教育研究センター ☎0172 - 39 - 3148

人文学部

フォーラム 青森県の雇用問題の本質と新たな雇用創出に向けて 9月中旬 時間：未定	人文学部 助教授 李 永俊	本学が位置している青森県の労働市場の本質を市民と一緒に考え、新たな雇用創出への政策を提案する。 (研究報告と市民参加のディスカッション)	弘前大学八戸サテライト 一般 40名 無料	人文学部 人文学部 李 永俊 ☎0172 - 39 - 3255
---	------------------	---	------------------------------------	---

大学院教育学研究科

ハワイ島の歩き方 8月1日(月) 10:00～12:00 13:30～15:30	教育学部 教授 鎌田耕太郎	ハワイ諸島の景観をつくるのは玄武岩の活動と貿易風のもたらす雨、そして時に南極から到達する大波です。講座ではハワイ島で見られる活発な火山活動の諸現象(カルデラや楕状火山、溶岩流のタイプ、溶岩噴泉など)を紹介し、火山島の形成と植物に見られる環境回復などについて学びます。またハワイ島の観光資源を利用した、小・中・高・大学、生涯教育それぞれの過程に対応可能な教材資料の収集に便利な旅のコツを紹介します。	弘前大学八戸サテライト 現職教員及び教育関係者 10名 無料	大学院教育学研究科 教育学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172 - 39 - 3325
美術の見方・考え方 8月8日(月) 13:00～17:00 8月9日(火) 9:00～12:00	教育学部 助教授 芳野 明	美術科授業での鑑賞の重要性が増しました。この講座ではまず最初に「美術」とは何かを考えます。そこから「美術の鑑賞」を定義していきます、最終的に数点の美術作品を取り上げて、単なる印象批評にとどまらない、システムティックな方法を用いた具体的な鑑賞の事例を提示します。対象は主として中学校教員となりますが、興味のある方の受講は歓迎いたします。	弘前大学八戸サテライト 現職教員及び教育関係者 20名 無料	大学院教育学研究科 教育学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172 - 39 - 3325
ピタゴラスの定理とその発展 9月11日(日) 10:00～12:00 13:30～16:30	教育学部 教授 太田 伸也	ピタゴラスの定理のいろいろな証明とその発展を考えます。実際に紙を切って敷き詰めてきたり、作図しながら図形を考察したりしようと思います。この教材は中学校の三平方の定理、高等学校の余弦定理などに直接的に関係しますが、小学校の「敷き詰め」の教材を見直すきっかけになることも期待します。 コンパス、定規、ハサミ、セロハンテープをご用意ください。	弘前大学八戸サテライト 現職教員及び教育関係者 10名 無料	大学院教育学研究科 教育学部総務グループ(研究協力担当) ☎0172 - 39 - 3325

農学生命科学部

八戸市民大学講座 9月7日(水) 「日本の『食』は大丈夫か？」 18:30～20:00	農学生命科学部 助教授 澁谷 長生	・「食」は今どうなっているのか ・「食」の安全性 ・食料生産現場の変化 ・外食のシフトを簡便化 ・農産物直売所の隆盛	八戸市公会堂 文化ホール 八戸市民大学講座 受講者 300名 受講料・申込み不要	農学生命科学部・ 八戸市教育委員会 共催 八戸市教育委員会 社会教育課 TEL 0178 - 43 - 2111
--	----------------------	--	---	---

十和田・三沢・むつ

生涯学習教育研究センター

名称・開催日	講師	内容	会場・対象 定員・参加費	主催等・問合せ先
<p>弘前大学生涯学習講演会</p> <p>5月13日(金) 手軽にできる運動で健康を保持しよう</p> <p>9月9日(金) がん予防5つの目標</p> <p>10月7日(金) 食べものの安全性は確保されているのだろうか</p> <p>18:30~20:30</p>	<p>教育学部 教授 本間 正行</p> <p>医学部 教授 水島 豊</p> <p>農学生命科学部 教授 戸羽 隆宏</p>	<p>健康は生活を営む上で最も基本となるものです。中高年になってからの健康保持をめざすには、手軽なスポーツ・運動が何よりです。また、スポーツなどをとおして「仲間づくり」を広めていくことも、健康的な生活を送る上で大切なのではないのでしょうか。</p> <p>食べものは健康を保持する上で最も大切なものの一つですが、果たして安全性は確保されているのでしょうか。一緒に考えてみましょう。</p>	<p>下北文化会館</p> <p>一般 50名 無料</p>	<p>生涯学習教育研究センター・農学生命科学部</p> <p>むつ市教育委員会・県民カレッジまさかり学友会共催</p> <p>むつ市教育委員会生涯学習課 ☎0175-22-1111 (内線732)</p>
<p>公開講座 「健康な暮らしについて考える」</p> <p>9月21日(水) 青森県民の寿命なぜ短命なのか</p> <p>9月28日(水) 生活習慣病とその対策(1) 肥満と糖尿病</p> <p>10月5日(水) 生活習慣病とその対策(2) 食生活と運動</p> <p>10月12日(水) よい眠り 心からくる睡眠障害、病気としての睡眠障害</p> <p>10月19日(水) 豊かな老後 豊かな老後を過ごすために必要なこと</p> <p>18:30~20:30</p>	<p>医学部 教授 中路 重之</p> <p>医学部附属病院 講師 小川 吉司</p> <p>医学部 講師 梅田 孝</p> <p>芙蓉会病院 医師 村上 拓也</p> <p>(社)地域医療振興協会地域医療研修センター 副センター長 八森 淳</p>	<p>わが国は医療の進歩や生活環境の改善などにより、世界有数の長寿国となっています。しかし、我が青森県は、あらゆる健康指数が国内できわめて低い位置にあります。どうしたら短命県を返上できるのか、どうしたら私たちはもっと健康に過ごせるのか、一緒に考えてみましょう。</p>	<p>三沢市公会堂</p> <p>一般 40名 5,000円</p>	<p>弘前大学・三沢市教育委員会</p> <p>三沢市教育委員会生涯学習課 ☎0176-53-5111 (内線397)</p>
<p>健康医学講座</p> <p>10月15日(土) 生活習慣病を考える(1) 食と運動</p> <p>10月22日(土) 生活習慣病を考える(2) 肥満と糖尿病</p> <p>13:00~15:00</p>	<p>医学部 講師 梅田 孝</p> <p>医学部附属病院 講師 小川 吉司</p>	<p>生活習慣の乱れが原因でおこる生活習慣病には、癌、糖尿病、脳卒中、心筋梗塞、肥満などがあり日本人の死因の6割以上を占めています。特に本県ではこれら疾病の罹患率も高く、健康指数を引き下げられています。食生活の面から健康を考え、また、身近で簡単にできる運動を、実技を交えながら一緒に学びたいと思います。</p>	<p>十和田市民文化センター</p> <p>一般 50名 無料</p>	<p>生涯学習教育研究センター</p> <p>生涯学習教育研究センター ☎0172-39-3148</p>

生涯学習教育研究センター On-Line 公開講座

生涯学習教育研究センターのホームページをご覧になったことがありますか。センターでは学内の先生方に御協力をいただいて、医療・教育に関する所見を解りやすく自由に書いて頂いています。時間が無くて講座には参加できない、自宅でのんびり学習したいという方には必見です。読んだ感想などをセンターにお寄せください。

U R L <http://culture.cc.hirosaki-u.ac.jp/sgcenter/>

シリーズ1

弘前大学における教育

最近のトピックス

(このページは月1回、追加・更新しています)

	更新月日	題 目	執 筆 者	学 部
第1回	2004. 9. 1	医学の現場で大活躍する“模擬患者”さん	加藤 博之	医学部医学科
第2回	2004. 10. 5	チュートリアル教育 勉強の仕方を学ぶ	中根 明夫	医学部医学科
第3回	2004. 11. 2	第3年次編入学生への期待 推進力はモチベーション	泉井 亮	医学部医学科
第4回	2004. 12. 27	クリニカルクラークシップ 医学部臨床教育の変革：見学型実習から参加型実習へ	奥村 謙	医学部医学科
第5回	2005. 1. 28	地域におけるエネルギー教育 小中高、地域住民との連携を求めて	南條 宏肇	理工学部
第6回	2005. 2. 10	弘前大学教員養成学開発研究コラボレーション・プログラム 全国初「教員養成学開発研究センター」の始動	大谷 良光	教育学部
第7回	2005. 2. 23	メーン州立大学における集中講座 異文化に出会い、英語力を上げ、単位をもらう	ジェームス・ ウエスタホーベン	教育学部
第8回	2005. 3. 18	教育におけるインターネット資料の利用 インターネット資料の利用法と注意点	齊藤 義彦	人文学部
第9回	2005. 4. 26	日本技術者教育(JABEE)認定取得による学部教育の改革	万木 正弘	農学生命科学部
第10回	2005. 5. 13	医学部保健学科における「FDフォーラム」について	對馬 均	医学部保健学科

シリーズ2

市民のための身体症候学

こんな症状でお悩みの方へ

(このページは月1回、追加・更新しています)

	更新月日	題 目	執 筆 者	学 部
第1回	2004. 10. 1	皮膚のかゆみ	花田 勝美	皮膚科学講座
第2回	2004. 12. 15	こどもの発熱	伊藤 悦朗	小児科学講座
第3回	2005. 1. 25	不正性器出血	水沼 英樹	産科婦人科講座
第4回	2005. 2. 3	難 聴	新川 秀一	耳鼻咽喉科学講座
第5回	2005. 2. 23	目のかすみ	中澤 満	眼科学講座
第6回	2005. 3. 17	頭 痛	大熊 洋揮	脳神経外科学講座
第7回	2005. 4. 25	排 尿 障 害	大山 力	泌尿器科学講座
第8回	2005. 5. 13	腰 痛	岡田 晶博	青森労災病院整形外科

健康コラム「生き生き人生」

健康一口メモ

執筆担当

弘前大学医学部医学科老年科学講座・教授

水島 豊 先生

(このコラムは2週間毎に追加・更新しています)

	更新月日	題 目
第1回	2004. 9. 1	ストレスは万病の元
第2回	2004. 9. 15	笑いは人の薬
第3回	2004. 10. 1	長寿の秘訣 腹八分
第4回	2004. 10. 14	人間の持つ潜在能力の素晴らしさにバンザイ!
第5回	2004. 11. 5	薬より養生
第6回	2004. 11. 15	「から元気、から笑顔」の効用
第7回	2004. 12. 1	長寿食?とは
第8回	2004. 12. 15	は万病の元
第9回	2005. 1. 7	プラス思考は薬なり
第10回	2005. 1. 14	スギ花粉症
第11回	2005. 2. 3	「痴呆」改め「認知症」
第12回	2005. 2. 15	鳥インフルエンザ
第13回	2005. 3. 1	ごろ寝の効用
第14回	2005. 3. 15	VDT 症候群
第15回	2005. 4. 7	睡眠時無呼吸症候群と事故
第16回	2005. 4. 15	痛風発作
第17回	2005. 5. 2	がん予防5つの目標
第18回	2005. 5. 13	「平均寿命」から「健康寿命」、更に「健康幸福寿命」へ

3 気軽に学習相談を

弘前大学で資格取得のため講義を聞きたい、専門的・高度な知識を得たい、学習したい、研修や地域生涯学習活動を行ううえで講師を紹介してほしい等々、生涯学習に関する学習相談を受け付けています。気軽にご相談ください。

お問い合わせは生涯学習教育研究センター (TEL・FAX: 0172 - 39 - 3148) まで。

4 共同研究・受託研究や研修を行います

弘前大学生涯学習教育研究センターでは地域生涯学習の推進を図り、民間企業・協同組合・自治体等、学外の方と一緒に共同研究を行います。そして受託された課題に関する研究を行い、地域の産業振興・まちづくり等に積極的に協力していきます。また研修会など、リカレント・キャリアアップ事業を展開していきます。要望・お問い合わせなどございましたら、遠慮なくご相談ください。

お問い合わせは生涯学習教育研究センター (TEL・FAX: 0172 - 39 - 3148) まで。

5

弘前大学のホームページで情報発信しています

弘前大学のホームページにアクセスしたことがありますか？あなたが興味・関心を持っている様々なことに、弘前大学がお答えします。ホームページのURLは下記の通りです。是非、アクセスしてください。

URL <http://www.hirosaki-u.ac.jp/>



大学教員の研究・教育について案内しています

弘前大学の教員がどんな研究をしているのか、どのような授業を担当しているのか、どんな論文や本を書いているのか、等々を全員についてお知らせしています。

自治体や公民館などで講演会や学習会・シンポジウムなどを企画し講師をさがしている方、審議会の委員として専門家の立場から助言を受けたいと考えている方、企業などで新しい商品開発を考えている方、自社の経営発展や地域経済の発展を願っている方、どなたも必見です。

授業の概要を案内しています。

弘前大学で開講されているすべての授業について、その概要が公開されています。どのような授業科目があり、どのような授業内容なのか、関心がある方はホームページの「シラバス」をクリックしてください。授業科目名・開講曜日・時間帯・担当教員、授業の概要などがわかります。

大学開放の事業を案内しています。

左側の「生涯学習」をクリックすると、公開講座・講演会など、様々な「大学開放」の事業についての情報が掲載されています。右側の「生涯学習教育研究センター」をクリックすると当センターの「On-Line 公開講座」などが楽しめます。

6

生涯学習のための開かれた大学 - 大学の講義を聞くことができます -

弘前大学では、一般市民が興味関心のある特定の授業科目・講義を聞くことができます(科目等履修生・聴講生)。特定の課題を持った人には教員の指導を受けることもできます(研究生)。また、社会人が大学で学びやすいように、一般入試とは区別して特別な入試を実施しています(社会人入試)。

弘前大学ドリーム講座

本学では、「青森県内の高校生を対象に『学ぶこと』の魅力、学ぶことを通じて自分たちの将来の夢について考えを深める機会を提供する」ことを目的としたドリーム講座を実施しています。講座を希望する高等学校に講師が出向きますが、交通費や謝金等は不要となっています。

詳しくは、総務部総務課広報・支援グループ(電話 0172 - 39 - 3012, E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp)にお問い合わせください。

科目等履修生・聴講生

大学の授業を受講する(聴講生となる)ことや、単位取得を目指す(科目等履修生となる)こともできます。いずれも授業料、検定料、入学料が必要になります。

平成17年度後期の講義を受講する場合は、8月末日締め切りとなっています。

詳しくは、学生センターの各学部(医学部を除く)・大学院のカウンターに直接お越しいただくか、或いは以下の教務グループにお問い合わせください。

人文学部	TEL : 0172 - 39 - 3940
教育学部	TEL : 0172 - 39 - 3939
医学部保健学科	TEL : 0172 - 39 - 5911
理工学部	TEL : 0172 - 39 - 3517
農学生命科学部	TEL : 0172 - 39 - 3752
大学院	TEL : 0172 - 39 - 3515

研 究 生

特別な課題や自己の学習意欲を正規授業のなかではなく、教員から直接指導を受けることができます。事前に教員とコンタクトをとっておくことをお勧めします。こちらも詳細は、教員の所属する学部担当者にお問い合わせください。

社会人入学

大学は若い人だけが学ぶところではありません。学部と大学院では、社会人として働きながら大学で学びたい、研究したい、という人のために一般入試とは区別した入試を行い、学院・院生として受け入れています。

詳しくは、学務部入試課入試グループにお問い合わせください。

学部	TEL : 0172 - 39 - 3122
大学院	TEL : 0172 - 39 - 3973

7

市民も施設を利用できます

弘前大学には、研究教育用の様々な施設があります。その一部は、授業や学生のクラブ活動などに使用していない時間などに、一般市民にも開放されています。学習活動やスポーツ、文化活動などに利用できます。

附属図書館

どなたでも附属図書館を利用することができます。また、図書を借りることもできます。一度に借りることができるのは5冊、2週間以内です。

開館時間は、朝9時～夜10時までです。土曜日・日曜日は10時～夕方5時までです。

なお、授業がない(夏・冬休み)期間は、平日朝9時～夕方5時までの開館となり、土曜日・日曜日・祝日は閉館となります。

利用希望の方は、利用証を発行しますので、最初に来館した際に運転免許証・健康保険証など、住所が分かるものを持参してください。発行は翌日になります。

遠方に住んでいる人は、近くの公共図書館(県立図書館や市町村立図書館)をとおして図書を借りることができます。

お問い合わせは、「学術情報課情報サービスグループ情報サービス担当」(電話0172-39-3162)まで。

		平 日	土・日曜日
本 館	授業期	9 : 00 ~ 22 : 00	10 : 00 ~ 17 : 00
	休業期	9 : 00 ~ 17 : 00	休 館
医 学 部 分 館	授業期	9 : 00 ~ 20 : 00	10 : 00 ~ 17 : 00
	休業期	9 : 00 ~ 17 : 00	10 : 00 ~ 17 : 00
医学部保健学科分室	授業期	9 : 00 ~ 20 : 00	休 室
	休業期	9 : 00 ~ 17 : 00	

体育施設

一般市民団体が利用できる(授業や学生のクラブ活動などで使用していない時間などに使用できます)体育施設には、体育館・総合運動場・武道場があります。

料金その他のお問い合わせは、学務部学生課課外教育担当(電話 0172 - 39 - 3107)まで。

施設名	所在地
体育館 (第一)	弘前市文京町 1
(第二)	弘前市文京町 3
総合運動場 (テニスコート)	弘前市学園町 1 の 1
(プール)	
(陸上競技場)	
(サッカー場)	
(野球場)	
武道場	弘前市文京町 3

学習活動・文化活動・集会などに利用できる施設

創立50周年記念会館(文京町1番地)は、市民が学習活動・文化活動等に利用することができます。ホールは304人収容できる大きなもので、講演会・コンサートなどに利用できます。控室が2部屋(8席)と応接室(6席)もあります。

40人収容可能な会議室は、小集会・研究会・学習会などに利用できます。

使用料は以下のとおりです。また、ピアノやスライドプロジェクター、モバイルデータプロジェクター等も有料でお貸ししています。

詳しくは創立50周年記念会館(電話 0172 - 39 - 3490)までお問い合わせください。

施設使用料

(単価：円)

室名	午前 9:20~12:00	午後 12:00~17:00	夜間 17:00~22:00	全日(13時間) 9:00~22:00	備考
全館	12,220	20,380	20,380	52,980	366席
みちのくホール	10,220	17,040	17,040	44,300	304席
会議室	1,230	2,060	2,060	5,350	40席
応接室	390	660	660	1,710	6席
控室(1)	210	340	340	890	8席
控室(2)	170	280	280	730	8席

上記の料金は、消費税込みの金額です。

上記の料金のほか、光熱費等の実費を負担徴収いたします。

貸付物品使用料

(単価：円)

品名	午前 9:20~12:00	午後 12:00~17:00	夜間 17:00~22:00	全日(13時間) 9:00~22:00
ピアノ	260	430	460	1,120
液晶プロジェクター	140	230	230	600
スライドプロジェクター	60	100	100	260
OHP	20	40	40	100
ホワイトスクリーン	190	310	310	810
会議用椅子(50脚)	40	70	70	180
電動スクリーン(会議室)	30	40	40	110

農業体験や環境教育などができる施設

農学生命科学部附属生物共生教育研究センターは、学生の実習、教員や大学院生の研究の場であるとともに市民向けの教育活動も行っており、講演会・公開セミナー・体験学習などを実施しています。同センターの藤崎農場、金木農場、深浦実験所では、自然、環境、農業などについて学習することができます。

他にも、小・中学校と連携して、総合的な学習などの教育活動の一環としても利用されており、農場・臨海実験所の特性を活かした教育活動をすることも可能です。

なお、金木農場には宿泊施設があり、学生実習のほかセミナー・研究会・体験学習などの目的に利用されています。

詳しくは、次のところにお問い合わせください。

農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 公開教育部門

(藤崎農場) TEL: 0172 - 75 - 3026

(金木農場) TEL: 0173 - 53 - 2029

8 その他

共同研究

地域の環境保全、地域産業の振興、新素材の開発等々、様々なテーマ・内容で外部の機関(民間企業・協同組合・自治体等)とで研究を行う制度です。研究に係る必要経費を負担していただきます。

受託研究

外部から委託を受けたテーマについて、弘前大学の教員が研究を行い、その結果を委託者に報告する制度です。研究費は委託する側の負担になります。

ボランティアを募集しています

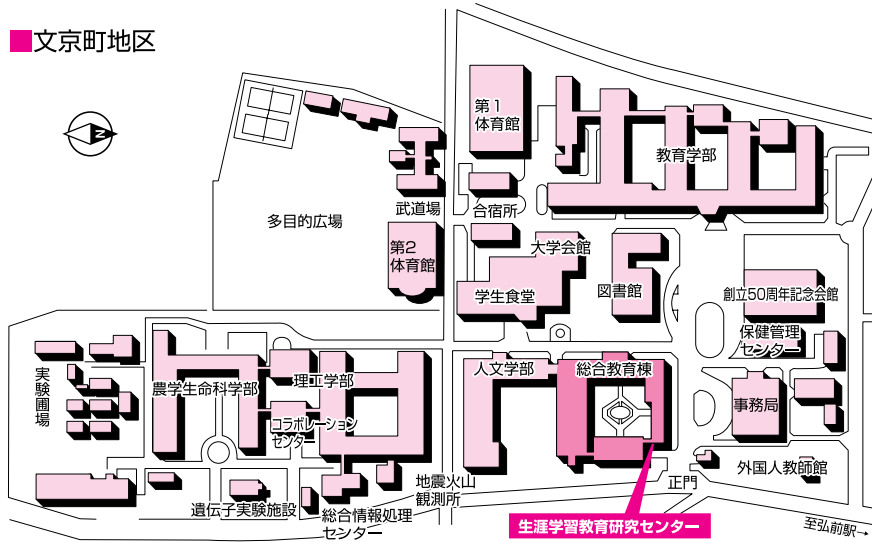
医学部附属病院では、患者サービスの向上と地域住民の生涯学習活動の場の提供を目的とした病院ボランティアを募集しています。

主な活動内容は、外来患者の診療手続補助や院内の案内、入院患者の荷物運搬等や身の回りの世話等です。また平成12年11月からは、新たに開設した患者図書室での図書の貸出や整理等の活動も行っています。

現在は20名が活動しています。活動に当たっての資格等は特に問いません。

お問い合わせは医学部医事課医療福祉担当(TEL: 0172 - 39 - 5223)まで。

■文京町地区

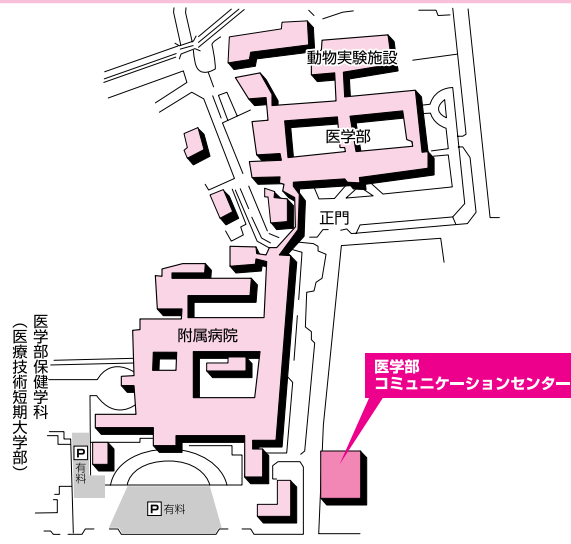


◆弘前大学までの交通案内
弘前駅前乗り場3番より、弘南バス「小栗山行」、「狼森行」、「学園町行」などに乗り、「弘前大学前」で下車、徒歩1分。
所要時間約10分。

◆お問い合わせ先 生涯学習教育研究センター

〒036-8560 弘前市文京町1
TEL 0172-39-3148(直通)
FAX 0172-39-3148

■本町地区



◆弘前大学医学部コミュニケーションセンターまでの交通案内
弘前駅前乗り場6番より、弘南バス「駒越・藤代行」、「茂森・四中行」に乗り、「弘前大学病院前」で下車、徒歩2分。
所要時間約20分。

◆お問い合わせ先 分室 (医学部コミュニケーションセンター)

〒036-8203 弘前市本町40-1
TEL 0172-39-5240(直通)
FAX 0172-33-4056

〒036-8560 弘前市文京町1番地

弘前大学生涯学習教育研究センター

TEL 0172-39-3148 / FAX 0172-39-3148

E-mail sgcenter@cc.hirosaki-u.ac.jp

URL <http://culture.cc.hirosaki-u.ac.jp/sgcenter/>